

発刊に寄せて

尚美学園大学

学長 堀江 湛

「芸術情報学部紀要」が発刊の運びとなりました。音楽表現、情報表現の両学科のスタッフの力作6編が掲載されるとのことです。

本学の建学の精神は「智と愛」理性ロゴスと愛エロスの追求であります。芸術の目的は愛エロスの追求、美の創造にあります。しかし、現代の芸術活動の特色はこれらエロスの追求がしばしば近代科学の粋を集めた高度な電子情報技術の手を借りて行われることです。

その意味ではこの芸術の拡大した新しい領域では、エロスの追求は科学技術ロゴスの追求と分かちがたく結びついています。

元来、芸術はエロスの追求、美それ自体を自己目的とし、受け手の魂を揺り動かす美に対する感動を呼び起こそうとするものでした。

しかし、この新しい芸術領域ではしばしば有意味な、すなわち真偽の対象となる情報伝達的手段として用いられるようになったことです。そこでは美的感動そのものが目的ではなく、それを通じて伝達した情報の意味を受け手の情動を揺り動かすことによって増幅することに向けられています。

いずれにしても、わが芸術情報学部の同僚の活動が、ギリシャ以来の長いヨーロッパ文明の中で育まれ発展してきた純粋な芸術活動から、IT時代の先端的情報技術の粋を駆使した情報伝達活動と、これを支える純粋な科学的基礎研究までを包摂していることは疑いありません。

この紀要にみなぎる批評と技術と科学的理論にまたがるわが学部の同僚の栄為の成果を読みとってほしいと思います。